



木脇中
学校だより

『夢』実現

ゆめじつげん

第15号

～地域とともにある木脇中～

発行元：
国富町立木脇中学校
(文責 校長・向江)
令和6年2月27日

三寒四温「冬来たりなば 春遠からじ」If Winter comes, can Spring be far behind?



＜中庭の桜＞

「三寒四温」。寒い日や暖かい日を繰り返しながら、春になっていきます。校内の桜も温かさに感わされ、満開を通り越し、葉桜になってしまいました。また、2/19(月)には九州南部での「春一番」の発表もあり、

春はもう目の前まで来ています。

題字の「冬来たりなば 春遠からじ」は故事成語のようですが、実はイギリスの詩人シェリーの長詩「西風に寄せる歌」の末尾にある一文の英訳です。昨今では、「つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来る」というたとえに使われており、私も好きな言葉の一つです。

この3年間は、コロナにより勉強や部活動などが思っ

きりできない欲求不満の貯まる時期もありましたが、そのコロナが5月8日から「5類」に移行したことから、部活動や体育大会、音楽発表会などが再開し、学校にも活気が戻ってきました。また、3年生(受験生)は、12月から高



＜面接練習＞

校入試に向け、学習に加えて面接や作文の練習にも取り組んでいますし、2年生も先月、地区実力テストを受験し、受験生の卵になったところです。

さあ、ここを耐えしのぎさえすれば、必ず春が訪れ、3年生は卒業し新たなステージに、1・2年生は進級し次のステップに進みます。まずは、3年生に1日も早い春が訪れ、教室内に桜が咲き誇るのを全校で応援しましょう。

立志式 「念ずれば花開く」「私にしかできない仕事がある」

2/20(火)に第2学年「立志式」を実施しました。生徒一人ひとりが、自分で決めた漢字を書いた色紙を手に、「立志の誓い」を壇上で発表しました。以下は、「学校長式辞」です。

立志を迎えた44名の2年生の皆さん「おめでとうございます。」

昨日、実行委員長から「立志のしおり」をいただき、皆さんの「決意」を読ませていただきました。皆さんが自分の夢や目標を真剣に考え、自分はどう生きていくのか、ある程度納得できる答えを見つけ出し、「大人への第一歩」を踏み出したのではと、感じました。

でも、思い描いている夢や目標をどうすれば実現・達成できるかということで悩んでいる人も多いと思いますので、皆さんに私の大好きな詩人、坂村真民(さかむらしんみん)さんの「念ずれば花ひらく」という詩を紹介しよう。



「念ずれば花ひらく」

坂村真民

念ずれば花ひらく
苦しいとき 母がいつも口にしていた このことばを
わたしもいつのころからか となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと ひとつひとつ ひらいていった

この詩に出てくる「念ずる」というのは、単に「志望校に合格したいな」「こういう仕事に就きたいな」ぐらいの淡い期待を抱くことではなく、頭のてっぺんからつま先までの全身をその思いでいっぱいにして、どこを刺しても血の代わりに『思い』が流れ出るくらい、ひたむきに、強く思い描くことを言うのです。

そして、大きな目標に立ち向かうとき大事なことは、小さなことを無視するのではなく、そこでも心を込めて努力し、一つひとつ成功体験を重ねて、「やればできる!」という確信を強めていくことです。

ただ、人は何のために生まれるのか、そこがわからない限りは、「勉強」であろうと「部活動」であろうと、何



をしても真に身に付きません。人は考え方が変われば、取り組む姿勢も変わります。自分は何のために生まれてきたのか、中学校生活残り1年の中でしっかり考え、「目標」を見つけてください。最後に、相田みつをさんのことばを添えて、式辞とします。

私がこの世に生まれてきたのは
私でなければできない仕事がある
何かひとつこの世にあるからなのだ みつを

＜1～2月の校内の様子＞

各学年とも、残り1月となり、「学習のまとめ」「次のステップの準備」の時期に入り、慌ただしくも充実した日々を送っています。



1年・大根収穫



2年・地区実力テスト



新春子供の声を聞く会



高校入試事前指導



薬物乱用防止教室

3月の主な行事予定

1(金)県立高校卒業式 / 5(火)・6(水)県立高校一般入試(事前指導2/29)【3年】 / 8(金)生徒会送別行事 / 11(月)振替休日(3/16分) / 12(月)ピアカウンセリング【3年】 / 15(金)町読書の日 / 16(土)卒業式(3/15前日準備) / 18(月)県立高校合格発表【3年】 / 22(金)生徒会各種委員会【1・2年】 / 26(火)終了の日 / 離任式(期日未定) / 4/5(金)R6始業の日



今年「閏(うるう)年」で今月は29日までありますが、これとは別に突然1秒増やす「閏秒」もあるって知ってました? 正確な「原子時計」と、地球の自転による「天体時間」のズレを、1972年からすでに27回調整しているらしいです。知らない間に、世の中は1秒も許されぬ、窮屈な社会になっていたんだ、。(向江)

◆◆木脇中ホームページ◆◆

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4143/>

木脇中

検索



※学校の様子や学校だよりをスマホでも視聴できます!